



肱川橋架替工事レポート



大洲市民の皆様を支えられ新しく生まれ変わる肱川橋です。

大正2年の初代完成から100年以上、大洲市民の生活を支えてきた肱川橋。現在行われている5代目への架替えに関しては、地震時の耐震性の強化や、橋脚を5本から3本に減らすことで川の流れをスムーズにするという治水上の問題の解消など、様々な課題解決を目的としています。さらに、歩道を広げることで歩行者や自転車の方の通行もスムーズに。大洲市民のみなさんが安心して利用できる橋を目指して工事は進んでいます。



今回は、川田建設株式会社手がける5代目肱川橋架替の上部工事についてレポートします。東京都に本社を置く川田建設株式会社は、PC（プレストレスト・コンクリート）橋梁の新規建設においてさまざまなビッグプロジェクトに携わり、豊富な施工実績を有しています。今回は、本工事の作業所長を務める同社の森脇健次さんに、工事の進捗状況などお話を伺いました。

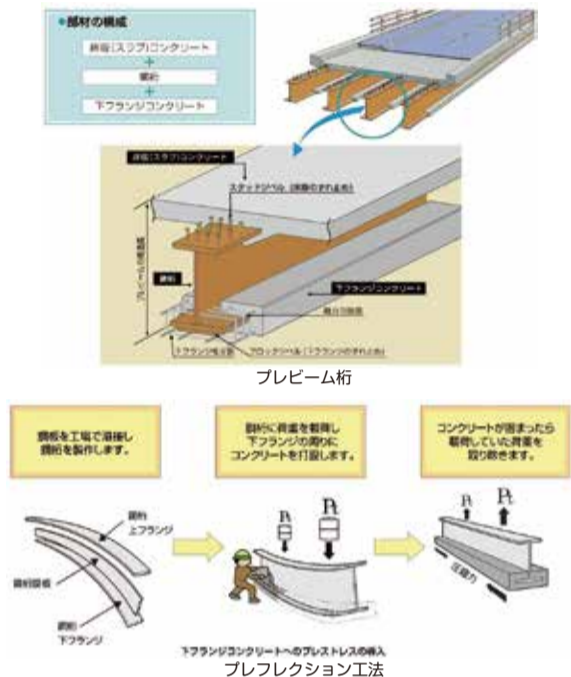


このたび、肱川橋架替の上部工事を担当させていただくこととなり、令和2年1月10日より本工事の工期に入りました。今回の工事では、橋桁の架設を行います。橋全体を4区画に分け、1区画に主桁を10本ずつ配置する設計です。初回架設（P1・P2区間）作業として工場で製造したコンクリートの主桁1本の長さが62・5メートル、重さ64トン。これを大型クレーンで橋脚の上部に運び、設置する場所までレールで移動させます。それから、順次その他の径間についても大型クレーンをフル活用して作業を行います。そして、工期短縮を図っています。

なお、今回の橋桁は、大洲城や富士山などの景観に溶け込むデザイン性を追求し、桁高を低く抑えた軽快で美しい外観のプレビーム桁が採用されています。工事のスケジュールとしては、今年5月中旬に橋桁の架設が完了予定。その後、横桁や床版の組立、コンクリート打設などを行い、当社の工期は令和3年11月末までを予定しています。

プレビーム桁とは？

鋼とコンクリートを合成し、プレフレクション工法によりプレストレスを与えた桁です。プレフレクション工法とは、鋼桁の曲げ剛性を利用して、下フランジコンクリートにプレストレスを導入するもの。肱川橋の橋桁の強度を高める要となる作業です。プレビーム桁は、桁の剛性が大きいため、非常に低い桁高の選択が可能。そのため、桁高制限のある橋梁などに使用され、大きな成果をあげています。また、外観がスマートで優美なため、今回の肱川橋のように景勝地の橋梁にも適しているといえます。



地元大洲市の中心部に位置するシンボリックな橋梁であり、現道を仮橋に迂回させながらの工事のため、長く愛される良品質の橋をつくることも、できるだけ早期の完成・開通を目指しています。現在、作業を進めている工事現場の脇には見学スペースを設けており、肱川橋工事に関する展示を公開しております。ぜひお気軽にお越しください。



臥龍の湯

臥龍の淵にたたずむ名湯に癒やされて

悠々と流れる肱川を一望できる臥龍の淵にある「臥龍の湯」。地下1000メートルから湧き出る源泉「少彦名温泉」は低張性アルカリ性冷鉱泉で、神経痛や筋肉痛、関節痛、冷え性などに効果が期待される名湯だ。体の芯までポカポカと温まると評判で、毎朝オープンと同時にひとつ風呂浴びにくる常連客も。大浴場には、湧き出るお湯がふんだんに注がれる清潔な主浴槽をはじめ、肱川や富士山、臥龍山荘が一望できる爽快な露天風呂、歩行浴、サウナがあり、のんびりと湯浴みを楽しむことができる。さらに天然石を用いた岩盤浴（45分制920円※一般入浴料込み）に加え、ファミリーやカップルでゆったり利用できる家族風呂もあり、こちらは90分3060円（4名まで/予約制）で利用できる。また午前11時から午後3時までに入浴利用すると、無料入浴券や岩盤浴のサビバス券、お菓子やジュースなどが当たるガチャポン抽選に参加できる。消毒や換気などの新型コロナウィルス感染対策を講じた上で営業しているので安心して利用できるが、混み合う時間を避けてゆったり過ごしたい人は、お昼時がおすすめだそう。



住所/大洲市柚木388-1
電話番号/0893-59-1112
営業時間/9:30~22:00(21:00札止め)
定休日/第3月曜(祝日の場合翌日)
入浴料/一般560円、3歳~小学生200円



大洲、いいもの探訪

歴史の風薫る大洲市。その町には、市民の憩いの場となっていたり新しくオープンしたお店など活気のあるお店がたくさんあります。今回は、「臥龍の湯」と「商舗・廊村上邸」を訪ねました。

商舗・廊 村上邸

街並み歩きのとまり木に古民家を生かした空間

2020年6月、おはなはん通りの突き当たりにおープンした「商舗・廊村上邸」。江戸時代の末期、安政年間に建てられた商家をそのまま活用し、商舗(物販)・廊(ギャラリー)、そしてカフェを併設した店舗へと再生。「商舗」では、大洲ゆかりの色である藍・淡(白)・墨のアイテムを販売。大洲で天然素材の洋服を仕立てている「Saraku」や「スギウラ工房」の砥部焼作品、松山市にある書店「本の轍」の店主がセレクトした書籍など興味深い品が揃う。また、2階の「彩月の間」は「廊」として、全国の作家による展示会を定期的に開催。現役の機織り機も展示されている。今後はイベントや展示会に力を入れていきたいという邸守。機織り体験や茶道体験、観月祭や音楽祭など月夜のイベントも続けていきたいそうだ。美しい中庭を望むカフェでは、大洲市の「カトラッチャ焙煎所」の村上邸オリジナルブレンドやお抹茶でゆったりと。軒先に腰掛けて談笑する地元の人々と観光客という光景も生まれており、街の新たな拠点として親しまれている。



住所/大洲市大洲450
電話番号/0893-57-9771
営業時間/12:00~18:00
定休日/月・火曜
駐車場あり

